

第6回研修コーディネート・ワーク報告書（Web用簡略版）

「人材育成をとことん考える交流会」

～こんな時代だからこそ、本気で人材育成を考える！～

今回のワークショップでは、人材育成のプロフェッショナルとして目指している「研修コーディネーター」にはどのような資質や知識が求められるのかをあらゆる角度から考えていきました。年度末であり、また4月からの新入社員の受け入れ準備も重なって参加者は少なめでしたが、より密度の濃いワークになったと思います。

ワークの成果

基本的にはブレインストーミング（拡散発散法）を行い、自由に意見を出していただきました。その意見をまとめたのは2ページ目の内容です。なお、基本的には当日のワークで出た内容を掲載していますが、一部見やすいように加工し、内容を明確にするためにコメントを追記しています。

人材育成のプロフェッショナルとは

- 「成長」のしくみを知る
 - ・成長とは何か。成長の効果とは何か。基本的な「成長」の意味を理解する。
- 「理想」の姿に持っていく
 - ・ニーズを拾う。ニーズを見定める。ニーズに応える。
- 「プラン立て」する力を持つ
 - ・計画的に人材育成を行う。ロジック化する技術を持つ。
- 「コミュニケーション」をとる
 - ・相手の理解をする。相手を理解し、自分を理解してもらう（双方向）。
- 「教え方の知識・技術」を要している
 - ・気づかせる。わかりやすい言葉で話す。
- 「やる気」を持たせる
 - ・ほめる、環境（しくみ）をつくる、共有する。
- 研修コーディネーターとしての人間的特性
 - ・気づける人、人が好き、ブレない（一貫性を持つ）、ユーモアを持つ、など。
- 新たな課題として
 - ・そもそも「プロ」とはどのような定義なのか。
 - ・人材育成の「品質」とは何か。

第6回研修コーディネート・ワークショップ

テーマ： 人材育成をとことん考える交流会

開催日時： 2009年3月18日（水） 19:00～21:00

会場： 文京区シビックセンター会議室（後楽園）

参加者： 7名

ファシリテーター 日本研修コーディネーター協会会員 佐藤成臣

報告書作成 日本研修コーディネーター協会会員 飯島宗裕

人材育成のプロとは？ 相関図

